

1. 題目

複雑な谷地形（谷津田）

2. 対象もしくは対象の状態（数値等）

高低差の小さい丘陵地形に谷底平野が高密度で樹枝状に入り込んでいる（谷津田環境）。島根県内で、ここまで谷密度が高い地形はないと考えられる。この地域は、“タガメ”が多く生息する地として県外研究者にも知られており、良好な谷津田環境を反映した結果と考える。

3. 場所

島根県雲南市大東町～木次町周辺（）

4. オモシロそうな理由

生物多様性の高い地域の一つとして谷津田環境（「里山」環境の重要パーツ）がある。谷津田環境は、地形・地質を基盤に、過去からの人為活動によって成立する植生との相互作用によって地域の生物多様性を向上させてきた。この地域の谷津田環境が、応用理学的な観点からどのように形成されたのか、また、それに基づいた人為活動が地域の植生をどのように変え、地域の生物多様性にどのように反映されたのか。その解明は、今後の自然環境と共存した地域づくりの必須事項と考えられる。それができるのは、様々な部門の協働と考える。オモシロくありませんか？

5. 応募者

大嶋 辰也 建設部門（建設環境）

株式会社 ウェスコ

6. 備考

複雑な谷地形を空中写真で見ると以下のとおりです。

